

ことわざ・四字熟語①

名前

ことば

A-1 解

一 上に書かれたキーワードに合うように、() にあてはまる言葉を書き入れましょう。そして辞典で調べて意味も書きましょう。

動物	食べ物	体	鳥
(馬)の耳に念仏	たなから(ぼたもち)	(へそ)で茶をわかす	能ある(たか)は (つめ)をかくす
いくら意見をしてもききめのないこと。	思いがけない得をするたとえ。 思いもよらない幸運をつかむたとえ。	あまりにばかばかしくて、おかしくてたまらないさま。	いつもはその実力をかくしておき、いざという時にだけ、 実力を発揮すること。

二 「漢字四字の言葉」で文の意味がわかるように、() の中にあてはまる言葉を
中から選んで書きましょう。

- ① 発表会本番で一人欠席したが 臨機応変 に対処した。
- ② 小田原市代表として 誠心誠意 役割を果たした。
- ③ 昔の人は魚が腐らないように 創意工夫 をした。
- ④ みんなは 異口同音 に、「友達は大切だ。」と言った。
- ⑤ 犬に追われ、 無我夢中 で逃げた。
- ⑥ ぼくが集めたカードは 玉石混交 だ。

無我夢中
誠心誠意
異口同音
臨機応変
玉石混交
創意工夫

ことわざ・四字熟語②

名前

ことば

A-2解

一 せりふの中に「ことわざ」を書きましよう。

秋は「やきいも」

おいしいね！



「かき」や「なし」も最高だね！

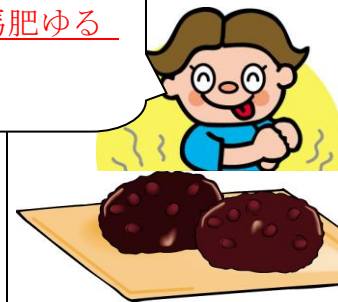


くりごはんも大好き！



おはぎだ！まさに
天高く 馬肥ゆる

秋



二 せりふの中に「四字熟語」を書きましよう。

あれ、むこうから犬がきたよ。いやだなあ。



！
うわー！
い、犬が
にげたー！



わー！たすけてえ。
だれか~~~~。



絶体絶命だ！

いきどまり



三 今まで調べた「ことわざ」や「四字熟語」をマンガにしてみよう。

熟語の成り立ち①

名前

ことば

A-3 解

① 次の熟語は、どの組み合わせでできているのでしょうか。() に記号を書きましょう。

① 意味が対になる漢字の組み合わせ (ア) (ク)

② 似た意味の漢字の組み合わせ (ウ) (オ)

③ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある漢字の組み合わせ

(エ) (カ)

④ 「くを」「くに」にあたる意味の漢字が下に来自る組み合わせ

(イ) (キ)

ア遠近 イ乗車 ウ願望 エ新芽 オ起立 カ聖火 キ読書 ク寒暖

② 次の組み合わせの漢字三字の熟語を から選んで書きましよう。

① 上の語が下の語の性質・状態などを限定するもの

新製品

② 上の語が下の語をうち消すもの

未発表

③ 上の語に下の語が意味をそえて、様子や状態を表すもの

積極的

④ 一字の語の集まりからなるもの

上中下

上中下 未発表 積極的 新製品

熟語の成り立ち② 名前

ことば

A-4 解

一 次の

から漢字を選び、条件に合う熟語を作りましょう。

① 一字の語の集まりからなる熟語

都
道
府
県

春
夏
秋
冬

前
後
左
右

前 春 都 府 冬 県 左 後 夏

② いくつかの語の集まりからなる熟語

自
由
民
権
運
動

少
子
高
齢
化

無
料
体
験
教
室

自由 教室 民権 無料 少子

二 漢字四字以上の長い熟語を見つけてみましょう。

(例) 全国高等学校総合体育大会

解答省略

わからなかったら、新聞や資料集などで、調べてもいいよ！



日本で使う文字①

名前

ことば

A-5 解

一 次の文の にあう言葉を後ろの から選んで書きましょう。

昔、文字をもたなかった日本では、やまと言葉（和語）を書き表すために、中国から伝わった漢字の音を利用して が作られました。平安時代になると、万葉がなをもとにして がつくられました。

片かな

平がな

平がな 万葉がな 漢字 片かな ローマ字

二 次の説明にあたる文字を から選んで書きましょう。

ア 万葉がなをくずして書くところから生まれたもの
イ 多くは、万葉がなの一部をとって生まれたもの
ウ ものの形からできた文字
エ 意味を表す部分と、音を表す部分とを
組み合わせた文字

平がな

片かな

象形文字

形声文字

象形文字 平がな 片かな 形声文字

三 万葉がなで書かれた『万葉集』の中の短歌を読んでみましょう。（ ）に合う言葉も入れてみましょう。

うらうらに てれるはるひに (ひばり)あがり
宇良宇良祢 照流春日 比婆理安我里

(こころかなしも) (ひと)りしおもへば おおどもの やかもち
情悲毛 比登里志於母倍婆 大伴 家持

(うらうらに照れる春日に ひばり上がり 心悲しも 独りし思えば)

日本で使う文字②

名前

ことば

A-6解

一 次の文の□にあう言葉を書きましよう。

現在、日本語の文章を書き表すときには漢字と、かな(平かな・片かな)を交ぜて使っています。この表し方を「漢字かな交じり文」といいます。

このほかに、ローマ字や数字、記号などを使って日本語を書き表しています。パソコンでの文字入力は、ローマ字が使われることが多いです。

二 次の文を、漢字かな交じり文で書きましよう。

① うらにわにはにわニワトリがいる。

うら庭にはニ羽ニワトリがいる。

② にのみやきんじろうは、あぶらなをそだててあぶらをつくりました。

二宮金次郎は、アブラナを育てて油を作りました。

三 万葉仮名で書かれた『万葉集』の中の小田原を読んだ短歌を読んでみましよう。

相模治乃 余呂伎能波麻乃 麻奈胡奈須

児良波可奈之久 於毛波流留可毛

東歌(相模国)

(相模路のよろぎの浜の真砂なす 子等はかなしく思はるるかも)

相模の国のこゆるぎの浜にやってくると、砂浜の砂のように多くの子どもたちが遊んでいるのが見えた。とてもかわいらしいなあ。

*こゆるぎの浜(今の小田原から二宮にかけての海岸)*かなしく(昔の言葉でかわいい)

敬語

名前

ことば

A-7 解

線が引かれた言葉を敬語に直しましょう。

拝啓

日中は、汗ばむほどの季節になりました。わたしは、運動会の練習にはげんでいます。

昨日、資料が、とどいた。さっそく

送ってもらい、ありがとう。

おかげさまで、わたしたちは、二宮

尊徳についていろいろお調べすることが

できます。また、尊徳記念館のパン

フレットを見ると展示室や生家がある

ことが分かりました。実際に見学に行

く日を、みんな、楽しみになさっています。

ます。

六月二十日には、分からないことを

いろいろたずねると思いましたがよろし

くお願いします。当日は、〇〇さんが

申し上げることを、よくお聞きして学

んでいきたいと思えます。

敬具

□ □年六月五日

小田原小学校〇年〇組

二宮次郎

尊徳記念館〇〇様

① 【とどきました】

② 【いただき】

③ 【ありがとうございました】

④ 【調べる】

⑤ 【拝見する】

⑥ 【うかがう】

⑦ 【して】

⑧ 【おたずねする】

⑨ 【おっしゃる】

ヒント 特別な言い方

△尊敬語▽ △言葉▽ △けんじょう語▽

いらっしゃる 行く・来る うかがう

いらっしゃる 聞く うかがう

おっしゃる 言う 申し上げる

めしあがる 食べる いただく

もらう いただく

ご覧になる 見る 拝見する

なさる する いたす

